

29年6月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成29年 6月1日～ 29年6月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
6月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
仕入 動向	国産材製材品	14.3	0.0	△ 14.3
	外材製材品	21.4	0.0	△ 21.4
	構造用集成材	25.0	0.0	0.0
消費 動向	国産材製材品	14.3	7.1	△ 14.3
	外材製材品	14.3	7.1	△ 14.3
	構造用集成材	8.3	8.3	△ 8.3
在庫 動向	国産材製材品	0.0	0.0	△ 16.7
	外材製材品	7.1	0.0	△ 25.0
	構造用集成材	0.0	△ 8.3	△ 16.7

・プレカット加工用仕入動向は、国産材、外材製品及び構造用集成材とも6月の増加が7月は横ばい、8月は減少に。消費動向は6月、7月の増加が8月は減少に。在庫動向は国産材製材品は6月、7月の横ばいが8月は減少に、外材製品は6月の増加が7月は横ばい、8月は減少に。構造用集成材は6月の横ばいが7月、8月は減少に。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
受注	7.1	7.1	△ 14.3
加工	7.1	7.1	△ 7.1
受注残	0.0	0.0	△ 21.4

・プレカット工場の受注動向は、受注及び加工は6月、7月の増加が8月は減少に。受注残は6月、7月の横ばいが8月は減少に。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

- ・加工用部材の荷動き動向は、国産材製品は在庫増により値下がり傾向、外材製材品は現状価格を維持。消費動向は若干の春需により増加、在庫動向は適正量維持に苦心。
- ・仕入動向は、輸入品の入港が増加しているため、翌月からその分は仕入を減少。6月の消費は、国内外とも減少。7月から国内・国外ともに消費が元の戻る見通し。在庫動向は、構造用集成材とも仕入増、消費減のため在庫はやや増加。
- ・現在のところ仕入はスムーズだ。

(受注動向)

- ・受注動向は、梅雨間近かでも予定多し。ただし旧盆までか？
- ・6月から7月に掛けて梅雨入りになるため受注は減少する。梅雨明けから盆まで忙しくなると思われる。
- ・梅雨入りしたが仕事は順調。